「まちの子育てひろば」事業　北播磨県民局事務局
TEL 0795-42-9355　FAX 0795-42-4050

まちの子育てひろば情報

No.165

平成 29 年 10 月 2 日発行

暑い夏からようやく秋らしい季節になりました。
爽やかな気候の中、どんぐりひろいや木の葉集めなど、秋のあそびを思いっきり楽しみたいですね。

ひろば紹介
加西市つどいの広場ほくぶキッズ（オークタウン加西内）
月曜～金曜　９時～16 時

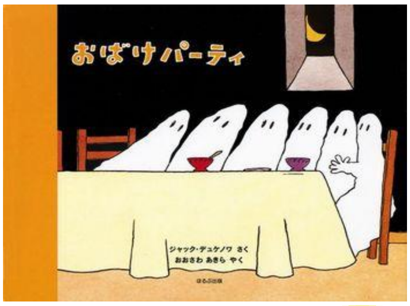
　ひろばアドバイザーの方に来ていただき、３Ｂ体操をしました。
　３Ｂ体操とは、３つの用具（ボール・ベル・ベルター）を使用しながら、音楽に合わせて行う健康体操です。この日はベルターとベルを使用しました。
　最初にベルターを使って、音楽に合わせて電車ごっこをしました。ベルターを電車に見立てて、お母さんと一緒にベルター（電車）に入り、最後はトンネルを通りぬける遊びです。保育授業の一環として、ひろばに来ていた高校生のお姉さんたちによる愉快な手遊びも披露していただきました。ベルターをみんなで引っ張りながら、たくさんのベルを上に投げる遊びもしました。“魚がはねてぴょん”というリズミカルな音楽に合わせて、“ぽん”っとベルが宙に上がると子どもたちからは『うわあ～』という歓声が聞こえてきました。

ひろば紹介
緑が丘乳幼児教育学級　　三木市
月２回　火曜日（不定期）１０時～１１時半

　人形劇グループ『たけのこ』の方々に来ていただき人形劇を楽しみました。
　『こいぬのさんぽ』と『りんごが食べたいねずみくん』の２つの劇を見せていただきました。
　『こいぬのさんぽ』では劇を見ている子ども達のすぐ近くにも、こいぬの人形が近づいてきたので、みんな興味深々で、こいぬの人形を見ていました。『りんごが食べたいねずみくん』は、次々に違う動物が登場したり、それぞれの場面に合わせて、木琴、小太鼓、笛などの楽器も使用されていて、子どもたちが楽しめるように工夫されていました。
　人形劇の後、劇に出てきた色々な人形で遊べるふれあいタイムもあり、人形の頭をなでたり握手したり、楽しい時間を過ごしました。

絵本の紹介

おばけパーティ（大型絵本）　　　　　ほるぷ出版



作・絵：ジャック・デユケノワ
訳　：大澤　晶
おばけのアンリが、ともだちみんなをおもてなし。
どんなごちそうがでるのかな？
おばけってお料理たべたらどうなるの？
さあ、みんなでおばけのパーティをのぞいてみよう！

なんで？　　　　　ブロンズ新社

作：トレーシー・コーデュロイ
絵：ティム・ワーンズ
訳：三辺律子
アーチーは、知りたがりやの男の子。まわりには、不思議なことだらけ。なんでかなあって思っているうちに、どんどん大変なことになってしまいます。パパとママと出かけた博物館で楽しい不思議がいっぱい。『なんで期』の親子にぴったりの絵本。

ハロウインの由来を子ども向けに簡単に説明すると

ハロウインとは『日本のお盆』のようなもので、
死者の霊が親族を訪れる夜とされている風習です。
とある国のお話。１０月３１日が一年の終わりの国がありました。
そしてこの日は、死んだ人のお化けがこの世に帰ってきます。このお化けたちは、
人間に取り付いてあの世へ連れて行こうとするのです。そこでお化けが怖い人々は、
『お化けの格好をして仲間だと思わせよう！』と考えつきました。そうするとお化け
たちは、お化けの格好をした人々を仲間だと勘違い(^_^.)　さらには、その格好が
怖すぎて逃げていくお化けも！そうして人々は１０月３１日にはお化けの格好を
して悪いお化けたちから身を守るようになったのでした。それが日本へと伝わ
って、今では徐々に仮装パーティのように変化してきました。

参考：『utuyo のハテナノート』ＨＰ
(http://utuyoiro.net/1030.html)